



第二中だより

No. 609

生徒数 524 名

令和 6 年 2 月 1 日

和光市立第二中学校

〒351-0106 埼玉県和光市広沢 1 番 4 号

TEL 048-462-1793

FAX 048-462-1890

<http://2chu.wako-city.ed.jp/>



「絆を深め未来へ」

校長 橋本 真

2月3日は、冬から春へと季節の分かれ目となる節分です。古来、季節の変わり目には「邪気が生じる」と信じられていたため、節分には豆まきをしました。そして、四季の始まりは立春、続いて立夏、立秋、立冬として一年が周り、立春は春の始まりであり、1年の始まりとされる日です。だんだんと春の気配が感じられるようになりますが、今は寒さが最も厳しい時期を迎えています。学校では、インフルエンザが流行り出しました。体調を崩さないよう十分に気を付けてください。

3年生はまだ入試が続きます。

最後まで健康に留意しながら、真剣に頑張って乗り切ってください。ストレスもかなりのものだと思います。不安になったり、イライラしたりしているかもしれません。推薦入試が終わり、進路が決まった生徒もいますが、やはりどこかの段階で同じ心境だったと思います。そしてその受験に向かって懸命に取り組んだことは、学力だったり、経験値だったり、度胸だったり、必ず自分の力になっています。皆さんがこの時期に手に入れたさまざま経験や力は、何年か、あるいは何十年か後に、皆さんの人生をきつと、しっかりしたものにしてけると確信しています。

朝読書について思うこと

本校では、8時30分から7分間読書の時間が設定されています。生徒たちが黙々と読書に没頭している姿を見ていて思うことがありました。「本を読むメリットは何か」＝「文字を画像にする思考である」という新聞の記事に目が留まりました。よく考

えてみると文字を読み、その場면을想像し、頭の中にイメージするという流れには、文字を読む力、語彙力、様々な知識が必要で、様々な力を活用し、画像にしているように思います。スマホやテレビですと、いきなり画像が出てくるので、このプロセスがすべてとは言いませんが必要なくなってしまうように思います。本を読むということは、単に知識を増やしたり、心の感動を得たりすることだけではなく、文字から画像へのプロセスの訓練ではないかと思いました。読書好きの方からは怒られるような気がします。本を読むことによって自然に身につけていく力なのかもしれません。

2年生スキー林間学校

今日、2月1日が2泊3日の最終日になっています。16時45分到着予定です。心配された雪も1m以上と最高のコンディションの中、実施されました。学年で立てた目標が達成できるように、そして次年度の修学旅行へつなげる3日間になったことだと思います。

「挨拶」

最近、姿勢を正してきれいに挨拶をしてくれる生徒が増えました。廊下ですれ違いざまや3年生の面接練習でとても気持ちの良いものです。人と人との出会いの最初は挨拶から始まります。「挨拶」という文字は、挨も拶も「せまる」、「おす」という意味があり、そばに身を寄せ合うことだそうです。人と接する時も相手の心の玄関を開いてみないと、心の触れ合いは生まれません。